



**堺化学工業株式会社**

**2022年3月期**

# **中間決算説明会**

**2021年11月29日**

# 湯本工場 爆発・火災事故に関して

## 1. 発生日時 / 場所

2021年5月11日 / 湯本工場 亜鉛末製造工場

## 2. 人的被害

協力会社従業員 4名 重軽傷 ⇒ 全員退院済み

## 3. 事故調査委員会の進捗

社外から3名の有識者を招聘し、6月5日に設置。

現在までに、計5回事故調査委員会を開催。

本年内に原因究明および報告書がまとめられ、来年1月中にご報告できる見通し。



## 4. 亜鉛末事業からは撤退

2021年3月期の亜鉛末年間売上高：約13億円

## 5. 2022年3月期通期連結業績への影響額（税引き前利益）

300百万円程度の見込み

# 本説明会のポイント

## ■ 2022年3月期中間決算概要

- 売上に関しては、電子材料を中心に各事業が好調に推移したが、新収益認識基準の適用により減収となった。
- 営業利益に関しては、電子材料、有機化学品分野を中心に好調に推移したので、大きく伸ばした。
- 化粧品材料に関しては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛などの影響が続き、前年同期よりも低調に推移した。

## ■ 2022年3月期業績予想

- 電子材料、酸化チタンが引き続き堅調に推移する見通しであり、現時点では、当期11月に上方修正した業績を見込む。
- 年間配当は1株当たり70円を予定。（中間35円 期末35円）  
※前期実績は中間配当15円のみ

# 目 次

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| <b>1. 2022年3月期中間決算概要</b> | <b>P. 5</b>  |
| <b>2. 2022年3月期業績予想</b>   | <b>P. 17</b> |
| <b>3. トピックス</b>          | <b>P. 21</b> |

# 1. 2022年3月期 中間決算概要

---

# 2022年3月期中間業績概要（対前年同期）

金額単位：百万円

	2021.3 2Q		2022.3 2Q		増 減	
		売上高比		売上高比		
売上高	40,244	—	39,905	—	▲ 338	▲0.8%
営業利益	1,597	4.0%	4,356	10.9%	2,759	172.8%
経常利益	1,219	3.0%	4,599	11.5%	3,380	277.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	558	1.4%	3,180	8.0%	2,622	469.8%

## ◆ 売上高

電子材料を中心に売上を伸ばしたが、新収益基準適用により、減収となった。

※新収益認識基準適用前：47,484百万円

## ◆ 営業利益

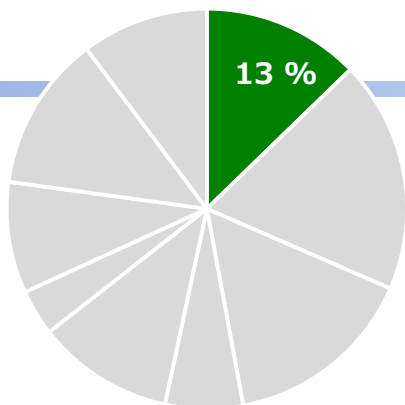
電子材料を筆頭に、衛生材料以外の各分野で増益となり、前年同期比172.8%増の増益となった。

# 事業別売上高・営業利益

金額単位：百万円

		2021.3 2Q	2022.3 2Q	増 減	
化学事業	売上高	36,299	35,809	▲ 490	▲1.4%
	営業利益	2,290	5,101	2,811	122.7%
医療事業	売上高	3,945	4,096	151	3.8%
	営業利益	242	233	▲ 9	▲4.0%
全社費用	売上高	—	—	—	—
	本社部門費	▲ 936	▲ 977	—	—
合計	売上高	40,244	39,905	▲ 339	▲0.8%
	営業利益	1,597	4,356	2,759	172.8%

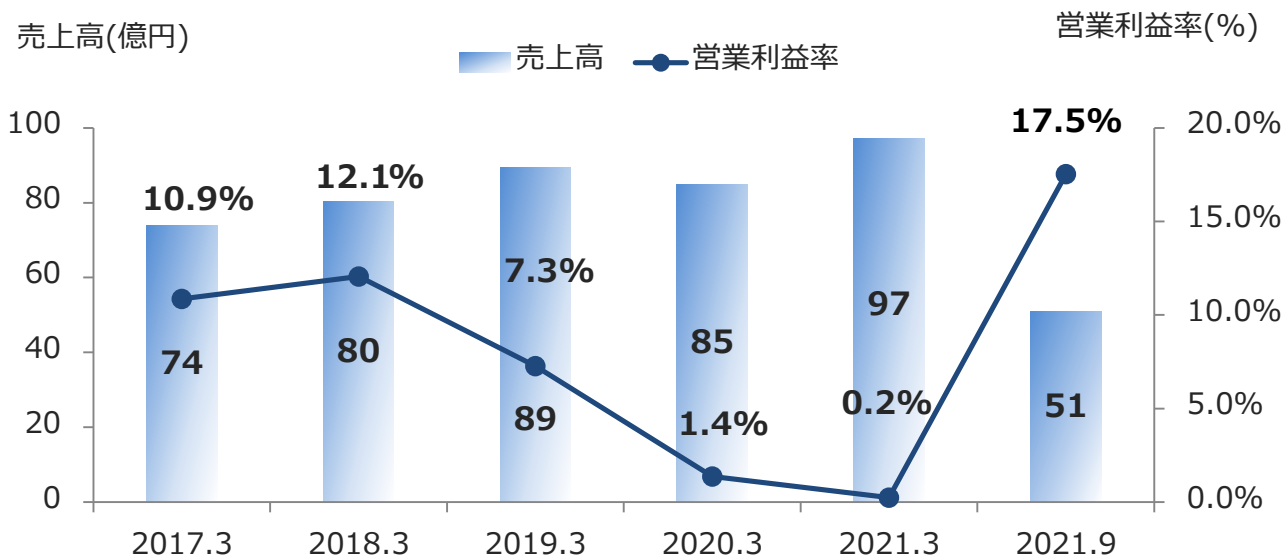
## 電子材料



## ● 中間期比較

(金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	4,525	5,086	12.4
営業利益	▲ 117	892	-



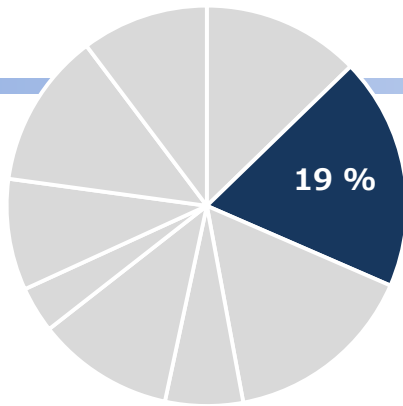
## 2022年3月期中間期のポイント

\* 新収益認識基準適用により ▲1,022百万円 売上減

- 積層セラミックコンデンサ向け誘電体（チタン酸バリウム）および誘電体材料（高純度炭酸バリウム）ともに、車載向けや5G基地局向け、通信機器向けなど全般に好調に推移し、売上・営業利益ともに増加した。
- 前年同期比 売上高 +561百万円(+12.4%)，営業利益 +1,009百万円



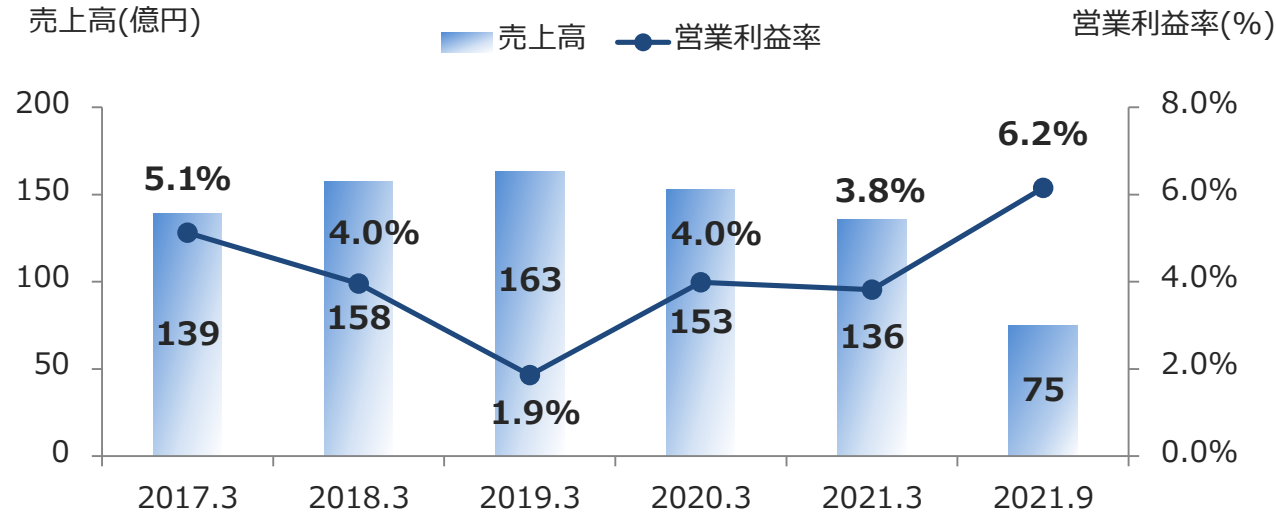
# 酸化チタン・亜鉛製品



● 中間期比較

(金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	6,229	7,491	20.3
営業利益	239	461	92.9



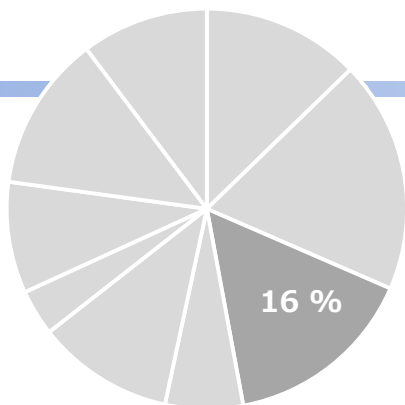
## 2022年3月期中間期のポイント

**\* 新収益認識基準適用により ▲87百万円 売上減**

- 酸化チタンは、食品包装に使用されるグラビアインキ向けを中心に各用途全般に堅調に推移し、売上・利益ともに増加した。
- 亜鉛製品は、タイヤ向け酸化亜鉛が堅調に推移し、亜鉛建値の高騰も相まって、売上・利益ともに増加した。
- 化粧品材料の超微粒子酸化チタン・酸化亜鉛は、海外の都市封鎖や外出自粛により、化粧品や日焼け止めの需要が落ち込み、売上・利益ともに減少した。
- **前年同期比 売上高 +1,262百万円(+20.3%)、営業利益 +222百万円(+92.9%)**

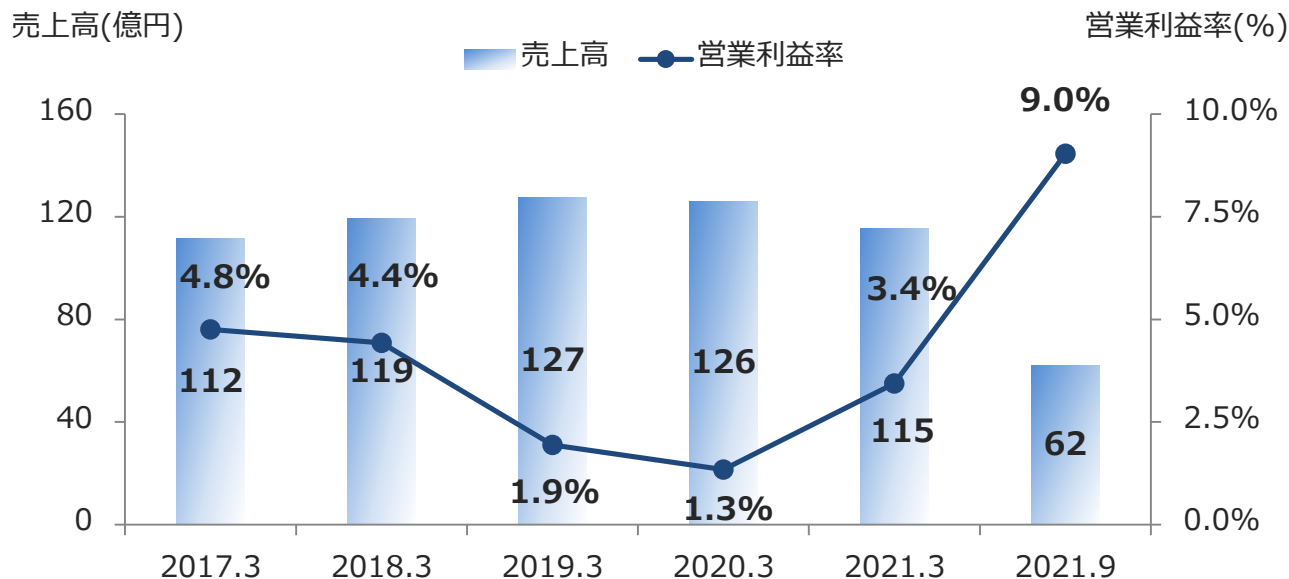
**※ 亜鉛末製造工場爆発事故に関わる費用：143百万円を特別損失で計上済み**

# 樹脂添加剤



● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	5,315	6,209	16.8
営業利益	28	561	1903.6

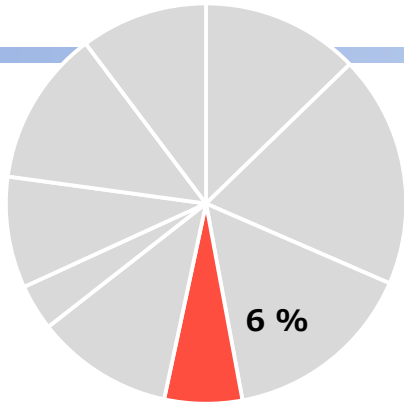


## 2022年3月期中間期のポイント

**\* 新収益認識基準適用により、▲402百万円 売上減**

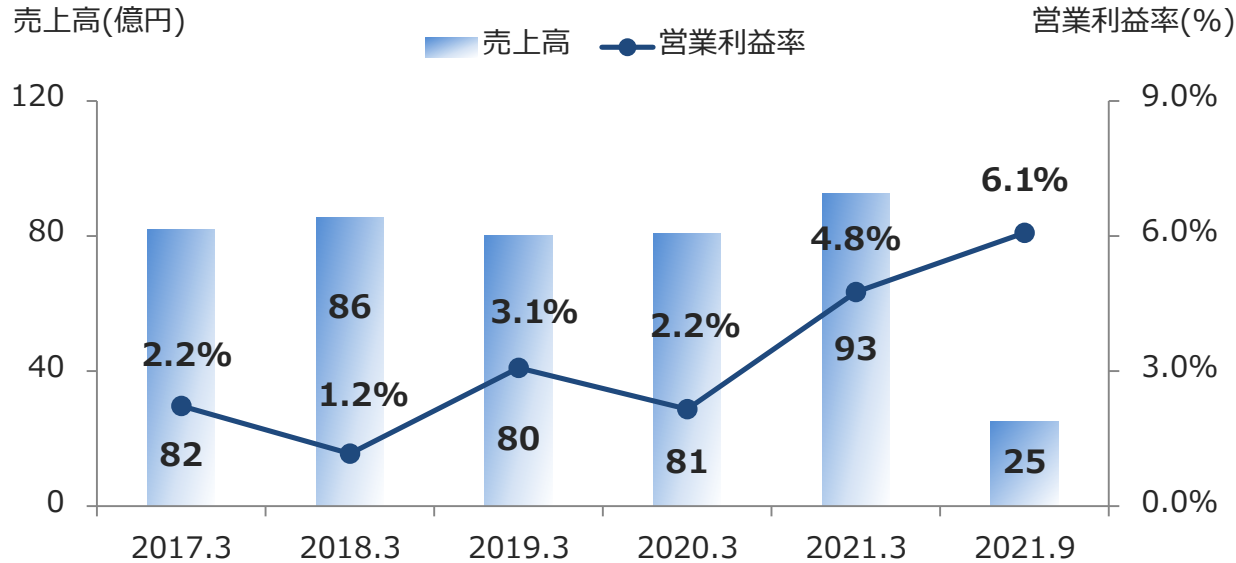
- 国内向けは、住宅や自動車向け、IT関連設備工業板向けなど、全般的に好調に推移し、売上・利益ともに増加した。
- 海外向けは、自動車用途向けPVC安定剤や農業用シート向けハイドロタルサイトが好調に推移し、売上・利益ともに増加した。
- **前年同期比 売上高 +894百万円(+16.8%)、営業利益 +533百万円(+1903.6%)**

# 衛生材料



● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	4,748	2,506	▲ 47.2
営業利益	212	152	▲ 28.3

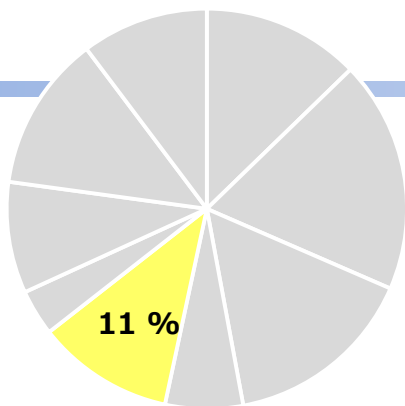


## 2022年3月期中間期のポイント

**\* 新収益認識基準適用により、▲2,055百万円 売上減**

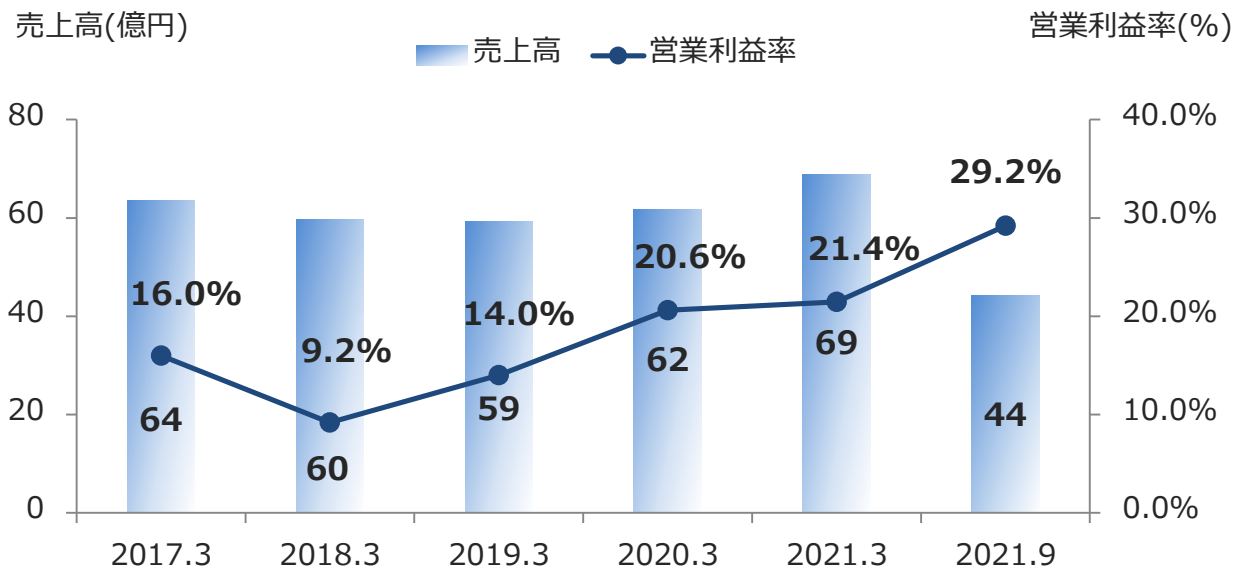
- 売上は、新収益認識基準の適用により大きく減少した。
- 利益は、インドネシア現地法人での製造販売業が堅調に推移するも、前年同期にあった不織布関連のコロナ特需が当期はなかったため、減少した。
- **前年同期比 売上高▲2,242百万円(▲47.2%) 営業利益▲60百万円(▲28.3%)**

# 有機化学品



● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	3,461	4,422	27.8
営業利益	739	1,291	74.7

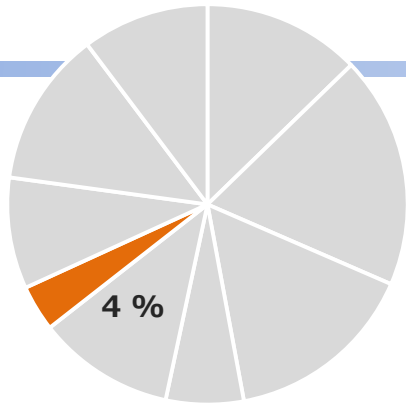


## 2022年3月期中間期のポイント

\* 新収益認識基準適用により、▲18百万円 売上減

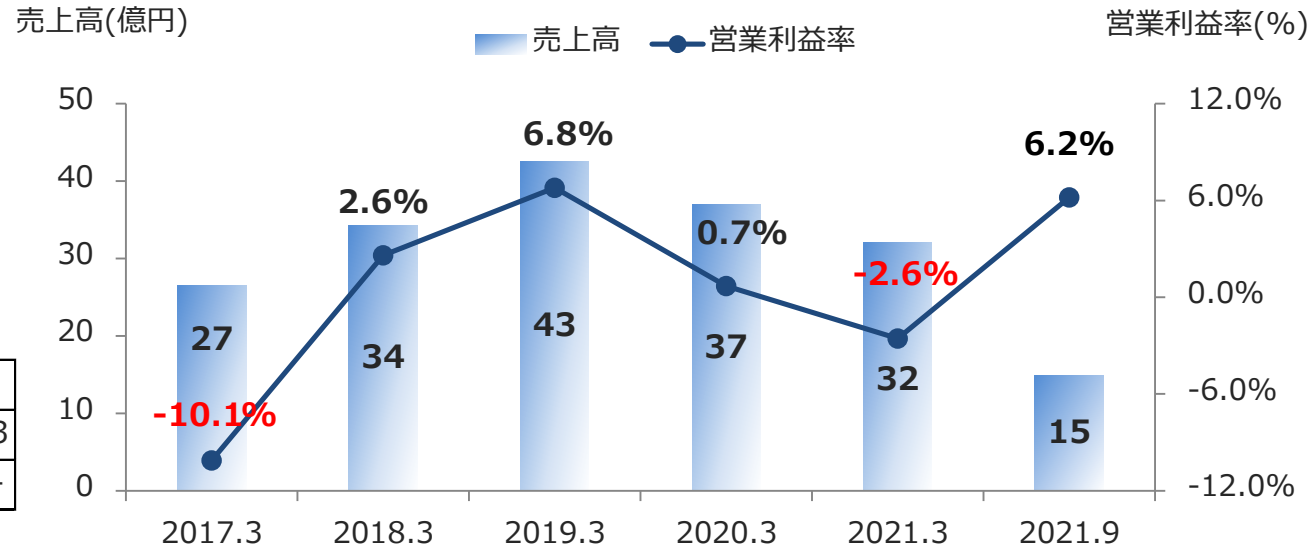
- チオ製品は、プラスチックレンズ向けが好調に推移し、また、自動車および各種部品製造に使用される潤滑油添加剤向けのリン製品も堅調に推移したことで、売上・利益ともに増加した。
- 医薬品原薬・中間体の生産受託については、主力中間体の出荷数量が当上期に集中したこともあり、売上・利益ともに増加した。
- **前年同期比 売上高+961百万円(+27.8%)、営業利益+552百万円(+74.7%)**

# 触媒



● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	1,482	1,486	0.3
営業利益	▲ 66	92	-

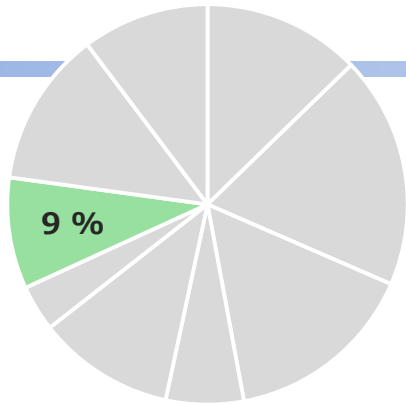


## 2022年3月期中間期のポイント

\* 新収益認識基準適用により、▲254百万円 売上減

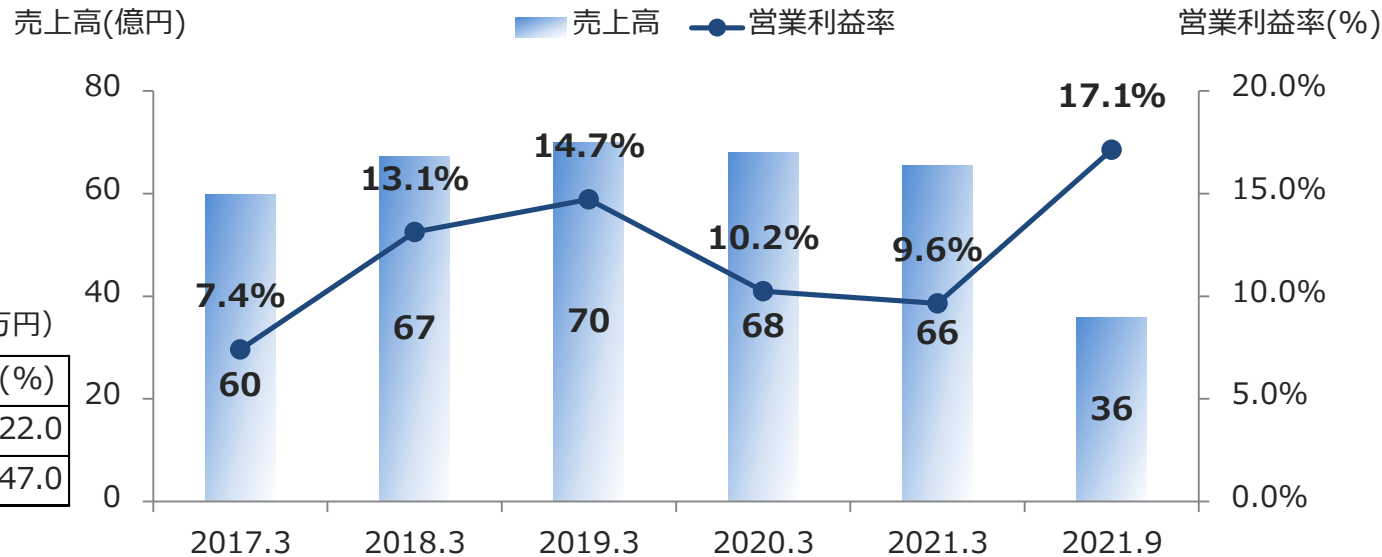
- 樹脂の水素添加工程などで使用されるニッケル触媒は、主要顧客向けの納入時期が繰り延べとなり、売上は減少した。
- 火力発電所やごみ焼却施設で使用される脱硝触媒は、海外向け大型物件の出荷が始まったことで、売上・利益ともに増加した。
- 前年同期比 売上高 +4百万円(+0.3%)、営業利益 +158百万円

# 受託加工



● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	2,942	3,589	22.0
営業利益	249	615	147.0

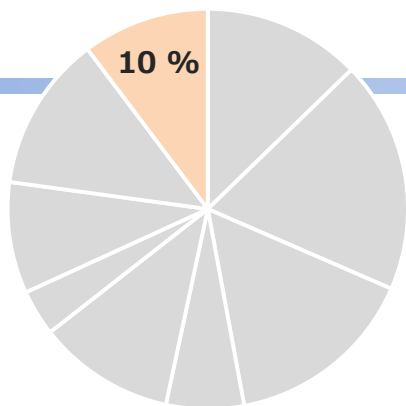


## 2022年3月期中間期のポイント

\* 新収益認識基準適用により、▲250百万円 売上減

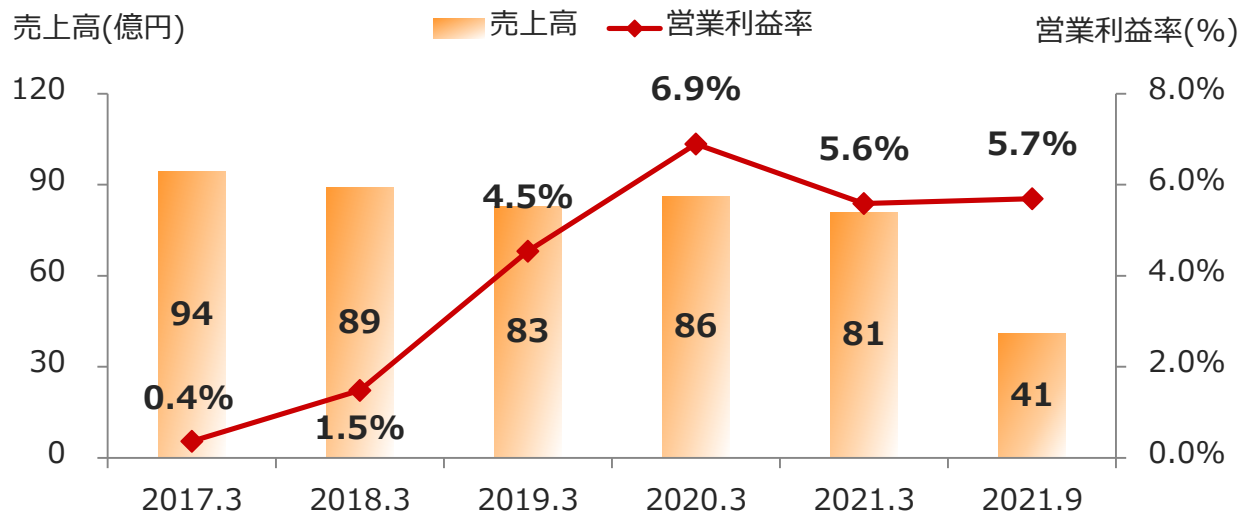
- 加工顔料は、自動車や日用雑貨用品向けが好調に推移し、売上・利益ともに増加した。
- 焼成、混合、乾燥等の工程受託は、収益性の高い受託品が増加したため、売上・利益ともに増加した。
- 前年同期比 売上高 +647百万円(+22.0%)，営業利益 +366百万円(+147%)

## 医療事業



## ● 中間期比較 (金額単位：百万円)

	2020.9	2021.9	増減(%)
売上高	3,945	4,096	3.8
営業利益	242	233	▲ 3.7



## 2022年3月期中間期のポイント

\* 新収益認識基準適用により、▲38百万円 売上減

- バリウム造影剤は、昨年から続くコロナ下の健診減の影響を受けつつも、韓国を中心に輸出向けの伸びもあり、売上・利益ともに増加した。
- 「アルロイドG」は、新型コロナの影響はなく堅調に推移し、薬価引き下げの影響はあったが、売上は増加した。
- 医療機器は、販売台数が回復し、売上・利益ともに増加した。
- かぜ薬「改源」など一般用医薬品は、前年同期はコロナ特需がなくなり、コロナ感染予防の徹底により風邪が流行しなかったことから、売上・利益ともに減少した。
- **前年同期比 売上高 +151百万円(+3.8%)、営業利益 ▲9百万円(▲3.7%)**

# キャッシュ・フロー

金額単位：百万円

	2021.3 2Q	2022.3 2Q	増 減
期首の現金残高	9,148	11,153	2,004
税金等調整前当期純利益	1,286	4,537	3,251
減価償却費	2,024	2,260	235
その他	873	▲ 1,414	▲ 2,287
営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF）	4,183	5,383	1,199
設備の支払額	▲ 5,118	▲ 3,837	▲ 1,280
その他	236	19	▲ 217
投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF）	▲ 4,882	▲ 3,818	1,064
財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF）	1,836	▲ 1,025	▲ 2,861
期末の現金残高	10,248	11,774	1,526

## ◆ 営業CF

主に業績が好調に推移したことで増加した。

## ◆ 投資CF

設備投資を既設の維持更新程度に収め、また有形固定資産取得にかかる支出も抑えられたため、減少した。



## 2. 2022年3月期業績予想

---

# 主要項目推移・予想

金額単位：百万円

	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2021.9	2022.3
売上高	83,938	87,223	89,541	87,177	84,918	39,905	<b>80,000</b>
営業利益	4,551	4,690	4,404	4,015	4,304	4,356	<b>7,000</b>
経常利益	4,290	4,279	4,553	4,208	4,012	4,599	<b>7,200</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	2,329	3,606	2,535	▲ 2,803	3,180	<b>5,300</b>

設備投資	4,636	3,771	6,891	8,403	9,567	3,837	<b>5,000</b>
減価償却費	2,877	3,005	3,189	3,686	4,243	2,260	<b>4,100</b>
研究開発費	2,909	3,217	2,951	2,898	2,487	1,168	<b>2,500</b>

(予想)

# 2022年3月期業績予想

金額単位：百万円

	2021.3		2022.3					
	通期実績		上期実績		下期予想		通期予想	
		売上高比		売上高比		売上高比		売上高比
売上高	84,918	—	39,905	—	40,095	—	80,000	—
営業利益	4,304	5.1%	4,356	10.9%	2,644	6.6%	7,000	8.8%
経常利益	4,012	4.7%	4,599	11.5%	2,601	6.5%	7,200	9.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 2,803	▲3.3%	3,180	8.0%	2,120	5.3%	5,300	6.6%

## ■ 化学事業：

⇒電子材料・酸化チタンを中心に堅調に推移する見込み。

有機化学品については、上期に出荷が偏ったことから、下期は大きくは伸びない。  
化粧品材料については、今下期より欧米を中心に回復しつつあり、次年度からの復調に期待。

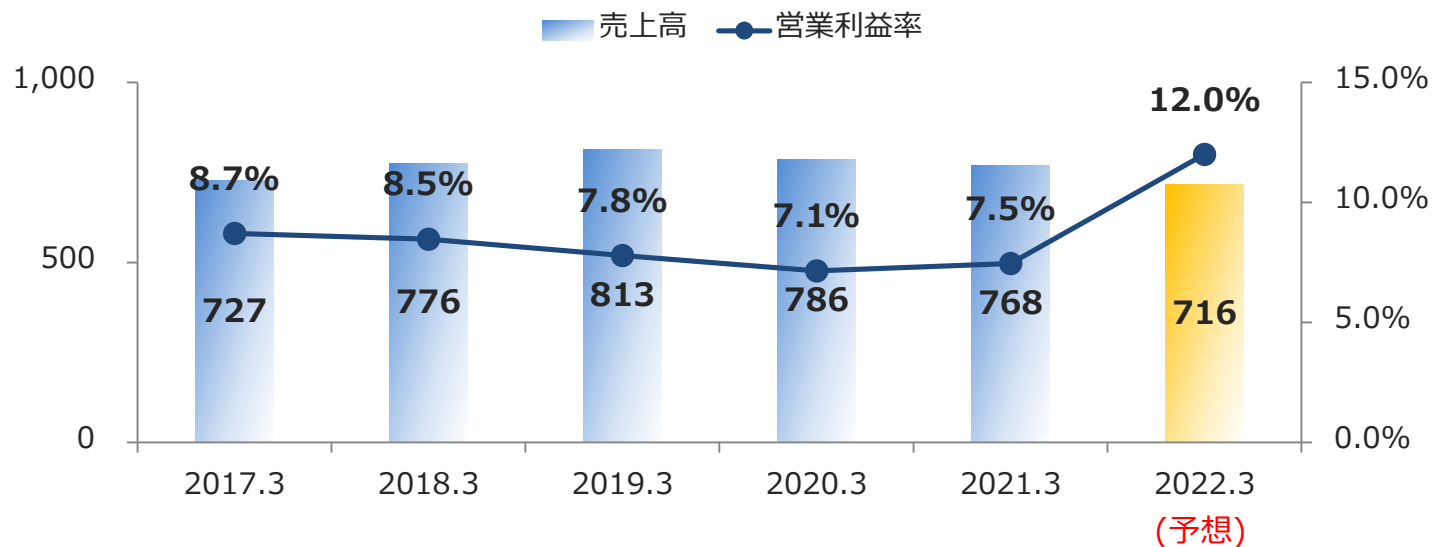
## ■ 医療事業：

⇒売上は前期を上回る見通しも、利益は微減となる見込み。

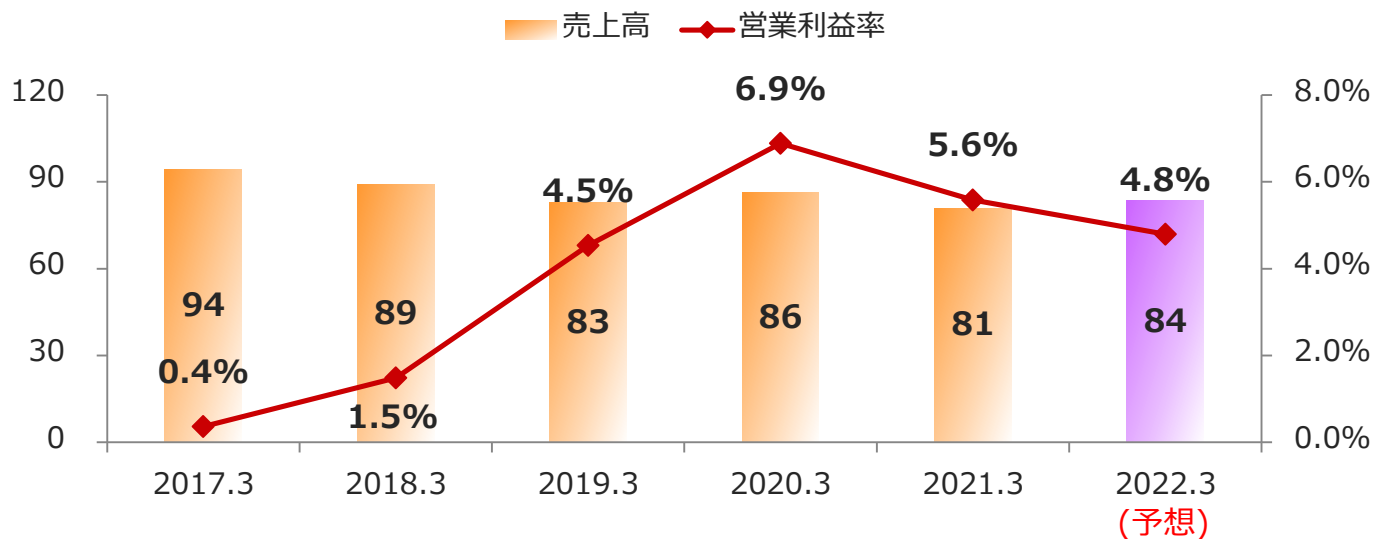
■ 亜鉛末製造工場爆発火災事故による特別損失は、当初見込みの300百万円の予定。

# 2022年3月期業績予想

## 化学



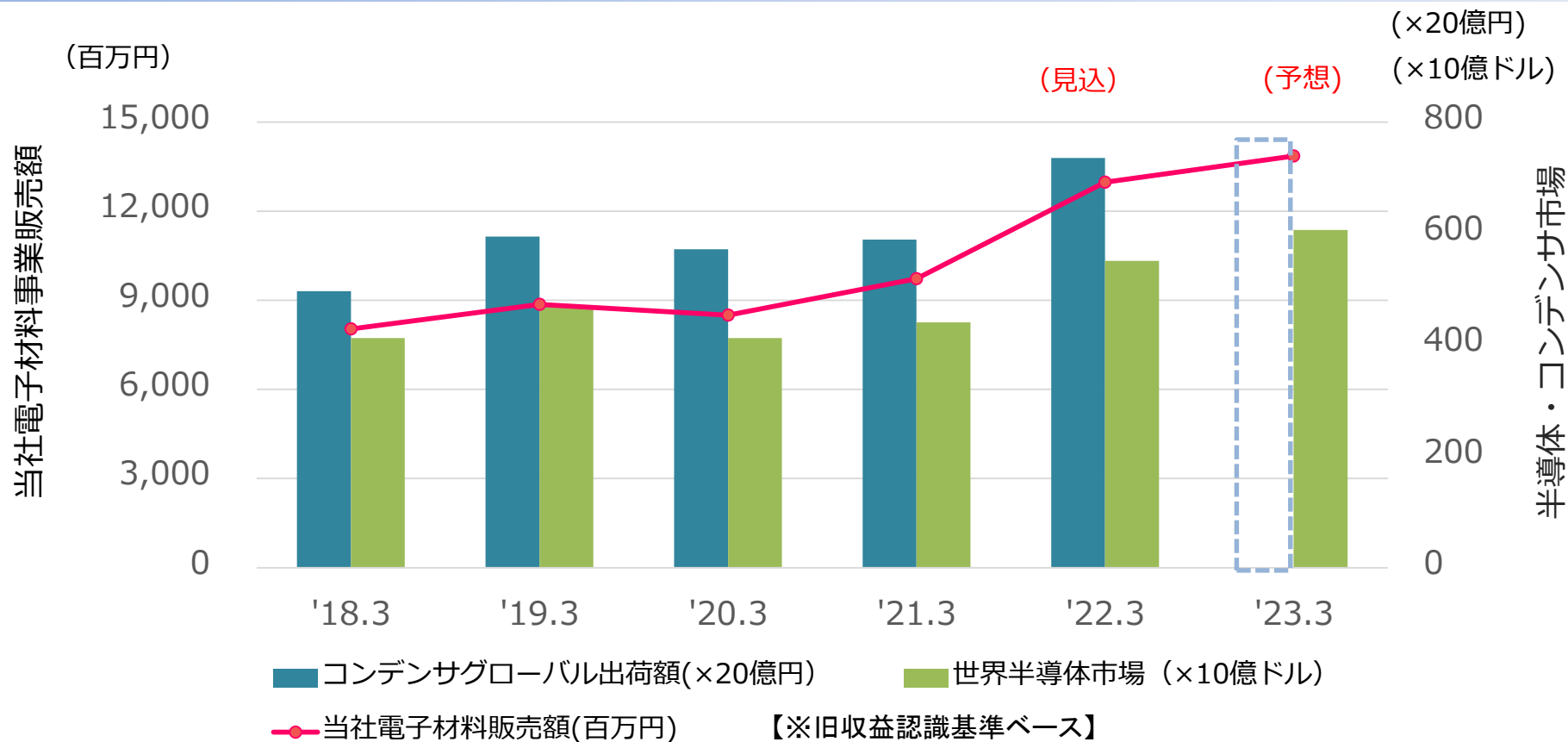
## 医療



# 3. トピックス

---

# 電子材料事業及びコンデンサ・半導体市場見通し 金額ベース



**当社電子材料事業は、コンデンサ・半導体市場動向にリンクして伸長していく見通し**

※出典元

世界半導体市場 : WSTS (世界半導体市場統計)、  
 コンデンサグローバル出荷額 : JEITA (一般社団法人電子情報技術産業協会) 統計

# ESGの取組みに関して

## ■当社のマテリアリティ

人々を幸せにする		ものづくりで社会の課題を解決する	
1	人材育成、成長を実感できる風土の醸成	7	環境や社会の課題解決につながる製品やサービスの創造
2	働きやすい環境をつくる	8	責任ある調達推進
3	地域社会に貢献する		
地球環境を守る		透明で強固な経営体制を築く	
4	化学物質の適切な管理、環境負荷低減、製品安全性の向上	9	取締役会の実効性を高める
5	産業廃棄物の排出量を削減する	10	リスクを把握し対策を講じる
6	生物多様性に配慮する	11	適時・適切に情報を開示する

本年9月にサステナビリティ委員会を設置し、現在、上記課題達成に向けたKPIの設定ならびにTCFDに基づく情報開示に対応できるよう、取り組んでおります。

### 【これまでの主な取り組み】

- 2005年8月 堺事業所・泉北工場LNGへ燃料転換
- 2016年6月 小名浜事業所LNGへ燃料転換
- 2020年4月 カーボンニュートラルLNG (CNL) の利用開始
- 2021年3月 CSRプラットフォーム/EcoVadis ゴールドメダル受賞
- 2021年6月 執行役員制の導入
- 2021年9月 人材育成方針の制定、人事制度改革
- 2021年10月 RSPO会員登録完了



# 株式の売出しおよび自己株取得について

## 【売出しの目的】

プライム市場への上場を目指す企業として、株式持合いの解消を一層推進し、流動性を高めてより多くの投資家の皆様と建設的な対話を重ね、企業価値向上に努める。

- ◆ 2021年10月12日に発表
- ◆ 2021年10月27日 2,269千株 売買成立  
(\* オーバーアロットメント分を含め発行株式総数の13.3%)

## 【自己株取得の目的】

株主還元を強化し、売出しに伴う株式需給への影響を緩和する。

- ◆ 2021年10月28日より、自己株式取得を開始  
上限株式数 900,000 株、上限取得金額 1,500 百万円

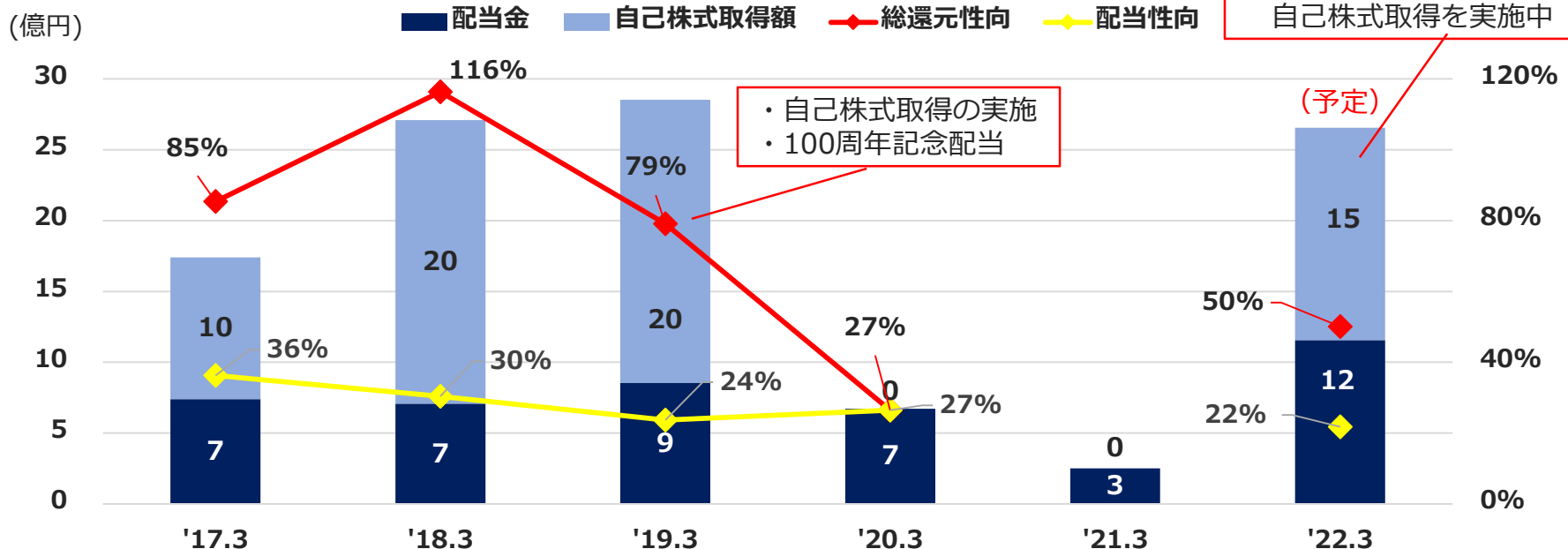
## 【今後の課題】

資本政策、事業戦略、ESG等、多方面にわたる企業価値向上に向けた経営戦略を策定・実行する。



# 株主還元

## ■ 総還元性向推移



剰余金の配当につきまして当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図るとともに利益動向や経営環境を勘案し、年2回の配当を実施することを基本方針としています。

中期経営計画『SAKAI INNOVATION 2023』では、総還元性向30%以上を目標として取り組んでいます。

2022年3月期については、中間35円、期末35円の年間70円とする予定です。

# ご清聴ありがとうございました。

本資料は、情報の提供を目的とし、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいるため、実際の業績はこれと異なる結果となる可能性があります。

また、2021年3月期以前の化学事業のサブセグメントの数値は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので、参考値とご承知おきください。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に依存して投資判断されることにより生じうるいかなる損失に関して、当社は責任を負いません。

# 参 考 資 料

- 当社概要
- 事業紹介
- 業績推移等



# 堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化学品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	124,547百万円
純 資 産	82,329百万円
関係会社	連結子会社16社（国内8社、海外8社）
従業員数	連結2,035名／単体773名（2021年9月末現在）

# 当社グループについて

## 化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

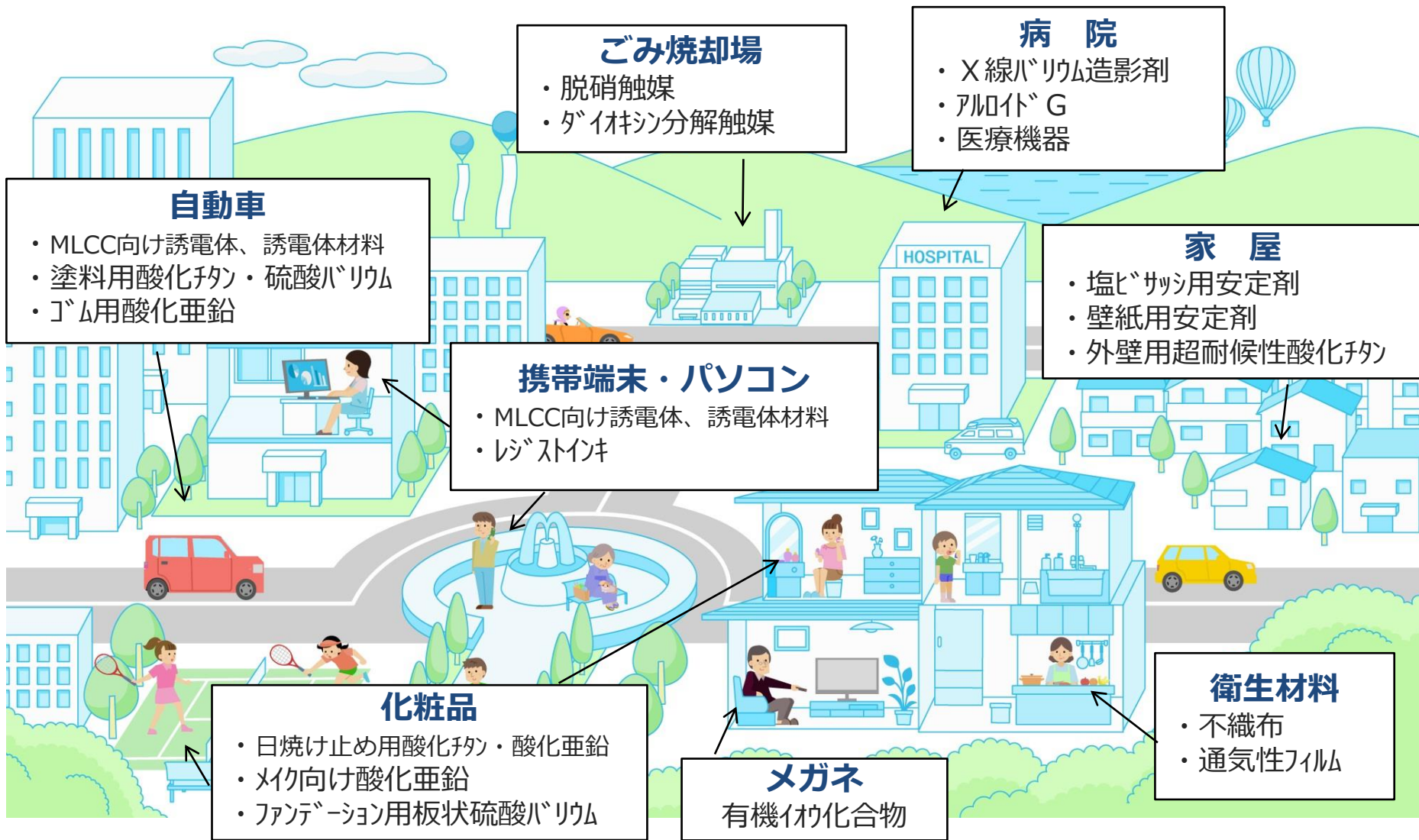
## 化 学【販 売】

堺商事(株)

## 医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)

# 暮らしに息づく当社グループ製品



# 事業内容と売上高構成

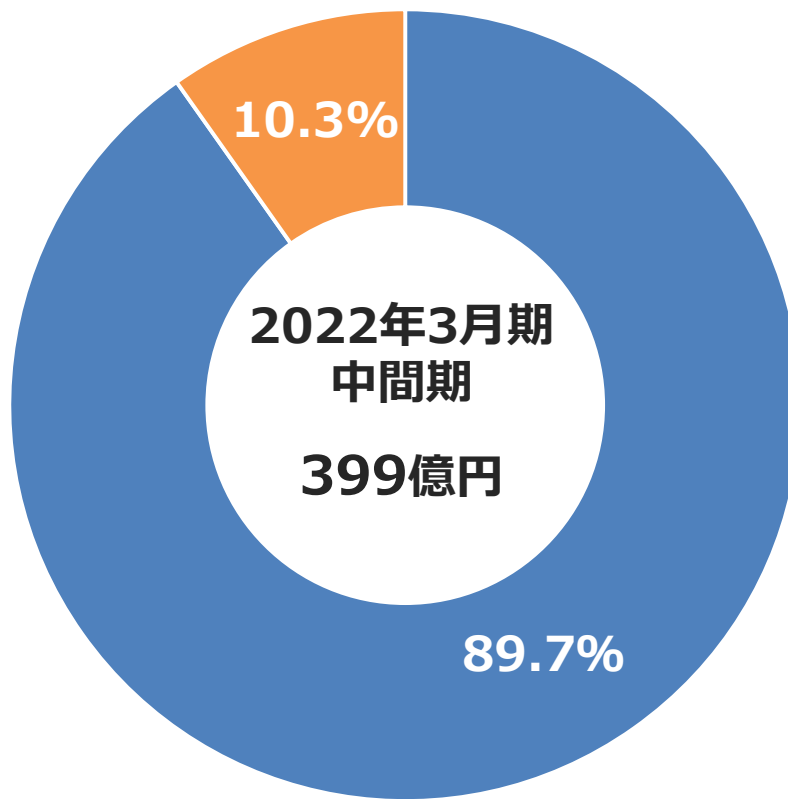
## 医療

バリウム製剤、アルギン酸ナトリウム製剤、医療機器、改源ブランドを柱として、医療用から一般向けまで幅広く医療と健康に貢献する製品・サービスを提供しています。



## 化学

天然鉱石から加工する技術や粉体をコントロールする技術などにより、さまざまな分野に素材を展開している主力事業です。

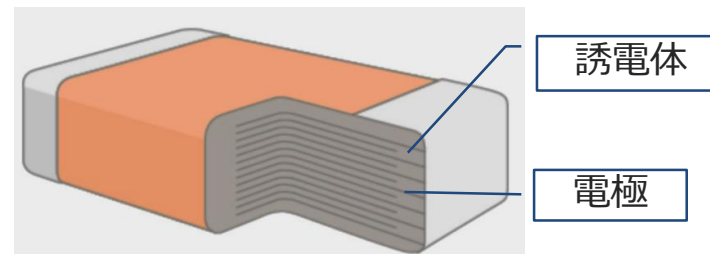


# 事業の紹介 <化学>

## 電子材料

### 積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)



電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサのメイン材料。

誘電体は電気をたくさん貯める性質を持ちます。

当社は、微細で形が均一に揃った球状の誘電体を開発し、コンデンサの性能向上に貢献していきます。

こんなところに  
使われています





# 事業の紹介 <化学>

## 酸化チタン・亜鉛製品

- ・酸化チタン…着色力、隠ぺい力、耐候性、化学的安定性に優れる白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤
- ・化粧品材料…高い紫外線遮蔽や滑らかな肌触りを実現

酸化チタンは、塗料やインキ、製紙、プラスチック、化学繊維などあらゆる分野に必要とされる素材です。

酸化チタン、酸化亜鉛ともに微細にすると紫外線遮蔽率が高まるため、日焼け止めやファンデーションにも活躍しています。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

## 樹脂添加剤

パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

- ・ 塩ビ安定剤 ・ 非塩ビ安定剤
- ・ ハイドロタルサイト ... 非鉛系塩ビ安定剤や  
高い保温性と透明性から農業用フィルムに



塩ビ安定剤は、樹脂の加工性向上や劣化抑制などのために添加されます。現在、世界的に塩ビ安定剤の脱鉛化が進んでおり、非鉛系への切替えが加速しています。

ベトナム子会社では非鉛系安定剤およびその原料となるハイドロタルサイトを製造、タイ子会社では鉛系・非鉛系安定剤を製造し、いずれも東南アジアを中心に販売を拡大しています。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

## 衛生材料

おむつ、生理用品

- ・ 通気性フィルム … 水分を留めて空気だけを通す

海外で需要が増加している中、インドネシア子会社では通気性フィルムを製造しています。

こんなところに  
使われています



## 有機化学品

プラスチックレンズ、コンクリート、潤滑油、医薬品

- ・ 有機イオウ化合物 … メガネレンズの屈折率向上、  
コンクリート混和剤としても
- ・ 有機リン化合物 … 潤滑油添加剤に
- ・ 医薬品原薬・中間体

こんなところに  
使われています

有機イオウ化合物BMPAを国内で唯一製造しています。



# 事業の紹介 <化学>

## 触 媒

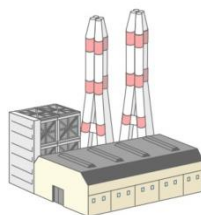
ごみ焼却場、火力発電所、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 … 窒素酸化物を除去
- ・プロセス触媒(ニッケル触媒) … 油脂・樹脂の水素化など

ニッケル触媒は使用先の光学フィルムや紙おむつ接着剤の需要増加に伴い、事業を拡大を目指しています。



こんなところに  
使われています



## 受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など

さまざまな機械を取り揃え、幅広い分野に対応しています。



# 事業の紹介 <医療>



## カイゲンファーマ(株)

### X線バリウム造影剤

…消化管撮影

1931年に原料となる薬用硫酸バリウムの製造を開始。

定期検診でお馴染みのものですが、海外への輸出も行っています。



### 医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器

バリウムから胃カメラ検診への移行に対応。

薬価改定の影響を受けない事業と位置付け、開発に注力しています。



### アルロイドG

…消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬

胃・十二指腸潰瘍の止血や粘膜保護、逆流性食道炎における自覚症状を改善。



### 一般用医薬品

・「改源」シリーズ  
・カイゲン顆粒  
・カイゲンパックIB顆粒



「メイドインジャパン」品質で台湾市場への販売を開始。

# 化学事業の製品別売上高・営業利益推移

金額単位：百万円

		2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2021.9
電子材料	売上高	7,398	8,033	8,948	8,499	9,723	5,086
	営業利益	803	969	651	117	23	892
酸化チタン・亜鉛製品	売上高	13,914	15,758	16,341	15,305	13,563	7,491
	営業利益	713	624	304	610	518	461
樹脂添加剤	売上高	11,151	11,934	12,745	12,583	11,543	6,209
	営業利益	530	529	248	169	397	561
衛生材料	売上高	8,177	8,558	8,006	8,070	9,254	2,506
	営業利益	182	100	246	174	440	152
有機化学品	売上高	6,353	5,979	5,919	6,172	6,882	4,422
	営業利益	1,016	548	828	1,271	1,476	1,291
触 媒	売上高	2,650	3,427	4,257	3,703	3,210	1,486
	営業利益	▲ 268	89	289	26	▲ 82	92
受託加工	売上高	5,988	6,721	7,000	6,811	6,550	3,589
	営業利益	444	882	1,031	698	632	615
その他	売上高	17,053	17,218	18,040	17,412	16,079	5,017
	営業利益	1,015	800	432	356	447	58
合 計	売上高	72,683	77,628	81,256	78,555	76,821	35,809
	営業利益	4,435	4,541	4,029	3,421	3,851	4,123

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。

# 化学事業の四半期推移

金額単位：百万円

	2020.3				2021.3				2022.3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	19,997	19,396	19,757	19,405	18,880	17,419	19,904	20,618	17,695	18,113
電子材料	2,161	2,237	1,890	2,211	2,261	2,264	2,542	2,655	2,660	2,426
酸化チタン・亜鉛製品	4,059	3,582	3,956	3,708	3,332	2,897	3,517	3,817	3,928	3,563
樹脂添加剤	3,123	3,176	3,243	3,042	2,765	2,551	3,066	3,162	3,090	3,118
衛生材料	2,159	2,027	1,967	1,917	2,337	2,411	2,200	2,306	1,283	1,223
有機化学品	1,583	1,309	1,475	1,806	2,162	1,300	1,584	1,837	2,250	2,171
触媒	903	792	952	1,056	645	837	1,033	695	661	824
受託加工	1,696	1,788	1,788	1,539	1,403	1,539	1,780	1,828	1,849	1,739
その他	4,314	4,485	4,487	4,127	3,975	3,621	4,182	4,318	1,974	3,046
営業利益	1,009	375	1,047	990	967	387	1,267	1,230	2,111	2,012

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。

# カイゲンファーマの製品別売上高推移

金額単位：百万円

	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2021.9
バリウム	2,315	2,327	2,265	2,291	2,043	1,186
アルロイドG	880	860	990	1,221	1,193	613
医療機器	2,309	2,290	2,373	2,445	2,453	1,286
一般用医薬品	1,580	1,463	1,190	1,144	1,026	394
その他	1,591	1,645	1,608	1,722	1,557	751
合 計	8,675	8,585	8,426	8,823	8,272	4,096